

2024 年度応用統計年会・計量生物年会（@九大医学部）の発表報告

2024 年 5 月 9 日～11 日において九大医学部百年講堂で行われた 2024 年度応用統計学会年会および日本計量生物学会年会にて、医療健康データ科学研究センターより江村教授，中藺研究員，およびその共同研究者が発表を行いました。下の演題で 3 件の講演を行い，どの講演にも多数の質問・コメントを頂戴し，今後の研究の参考になる発表会となりました。

5/9: 13:45–14:45 応用統計年会 一般講演 II

江村 剛志（統数研、医療健康データ科学研究センター）・道前 洋史（北里大）

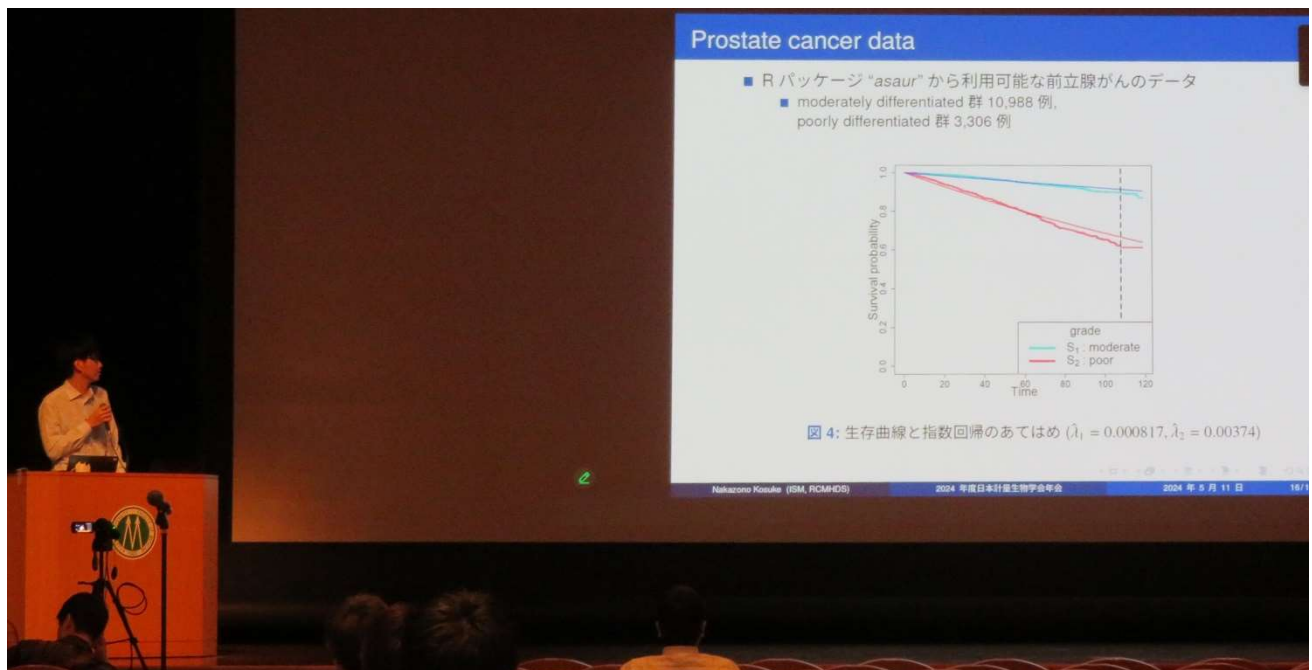
パラメトリック潜在故障時間モデルに基づく左側切断・競合リスクデータによるベイズ推定

発表論文: Michimae H, Emura T, Miyamoto A, Kishi K (2024-) Bayesian parametric estimation based on left-truncated competing risks data under bivariate Clayton copula models, *J Appl Stat*, doi.org/10.1080/02664763.2024.2315458

5/11: 9:30～10:40 一般講演『因果推論』

中藺 孝輔（統数研、医療健康データ科学研究センター）・魚住 龍史（東工大）・江村 剛志（統数研）

パラメトリックコピュラモデルを用いた相関のある生存時間データにおける Mann-Whitney 効果の推定（写真下は中藺氏の講演）



発表論文: Nakazono K, Lin YC, Liao GY, Uozumi R, Emura T (2024) Computation of the Mann-Whitney effect under parametric survival copula models. *Mathematics* 12: 1453

5/11: 14:40~15:50 一般講演『メタアナリシス・回帰モデル』

武富 奈菜美 (久留米大／広島大), 江村 剛志 (統数研、医療健康データ科学研究センター)

[固定効果メタアナリシスにおける共通平均の推定量の一致性](#) (写真下は武富氏の講演)



発表論文: Taketomi N, Emura T (2023) Consistency of the estimator for the common mean in fixed-effect meta-analyses, *Axioms* 12(5):503

5/11: 16:10~17:20 一般講演『モデリング』

江村 剛志 (統数研、医療健康データ科学研究センター)・松本 晃太郎 (久留米大)・魚住 龍史 (東工大)・道前 洋史 (北里大)

[高次元・スパースな線形モデルにおける一般化リッジ回帰と R パッケージ「g.ridge」](#)

発表論文: Emura T et al. (2024) g.ridge: an R package for generalized ridge regression for sparse and high-dimensional linear models, *Symmetry* 16(2):223



江村の講演と座長の川野秀一教授 (九州大学)

文責: 江村剛志 (統計数理研究所)